

地元の案件にも 着実に取り組んでいます

■四国水族館の起工式が行われました

中讃地域のみならず香川県全体にも経済活性効果が期待できる宇多津の水族館の起工式が、6月26日に行われました。オープンは2020年です。最初は、「不可能だ」「無理だ」と言われましたが、関係者の粘り強い努力の結果、ついに着工しました。応援してきた一人として感無量です。子どもたちにとって夢のある場所になることを心から願っています。また、水族館を起点として、新たなビジネスが周辺に生まれることを期待しています。



宇多津の水族館、工事に着工

■東かがわ市白鳥に小中一貫校を新設

6月21日、2020年度に開校予定の小中一貫統合校「白鳥小学校(仮称)」の予算が確定したとの連絡が文科省からありました。東かがわ市白鳥地区の子どもたちが学びやすい学校になると期待しています。ただ、福栄小学校など山間の小さな学校が廃校になるのはとてもさびしく感じます。私の卒業したさぬき市の神前小学校も廃校になりますが、地域の小学校はできるだけ残して欲しいとの思いもあります。地域のにぎわいをどう作るか、地方から選出された議員としてビジョンを示していきます。

■ハンセン病療養所の医師不足を大臣陳情

国の隔離政策で家族から離され、厳しい差別を受けながら過酷な人生を送ってこられたハンセン病の元患者の平均年齢は、今や85歳を超えています。しかし、全国の療養所で40名以上医師が足りません。特に、全国で唯一離島にある大島青松園(高松市庵治町)では医師の確保が難しくなっています。そこで、6月21日、超党派議連の役員で加藤厚生労働大臣を訪ね、待遇の改善など療養所における医師の確保について申し入れを行いました。国の責任で対応しなければなりません。



超党派議連の役員で加藤厚生労働大臣を訪ねる

玉木雄一郎(たまき ゆういちろう) プロフィール

昭和44年、さぬき市生まれ。高松高校、東京大学法学部、米国ハーバード大学大学院卒業。財務省主計局主査などを経て、平成21年、衆議院初当選、当選4回。平成28年、民進党代表選に出馬。民進党幹事長代理、希望の党代表を歴任。平成30年5月、国民民主党共同代表に就任。



フェイスブックで随時活動を更新中!



たまき雄一郎



ホームページ & メール

HP:<http://www.tamakinet.jp/>

✉ pr@tamakinet.jp

事務所・連絡先

寒川事務所

〒769-2321 香川県さぬき市寒川町石田東甲814-1
TEL: 0879-43-0280 FAX: 0879-43-0281

坂出事務所

〒762-0032 香川県坂出市駒止町1-2-20 サンコート1階
TEL: 0877-46-1805 FAX: 0877-43-5595

国会事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第1議員会館706号室
TEL: 03-3508-7213 FAX: 03-3508-3213

「国民が第一の政治」
の実現をめざして

ゼロからのスタート

衆議院議員

たまき 雄一郎 ゆういちろう

国民民主党はじまる

■「政権を担える政党」を再生する

5月7日に希望の党と民進党の有志で「国民民主党」が結党されました。昨年10月の選挙で民進党が事実上、分裂をすることになり、皆様には大変なご心配とご迷惑をおかけしたこと、改めてお詫び申し上げます。私は、もう一度、政権に挑める大きな塊かたまりを作ります。その第一歩が、国民民主党です。幸いにも、いい仲間が集まりました。

大型の国政選挙を経験していないので、まだまだ認知度、支持率も低いのですが、将来、政権の核を担う政党は国民民主党であるとの自負を持ちながら、未来を見据え、政権を担う準備を地道に進めていきます。

■「改革中道政党」の立ち位置

まず、私たちは、穏健保守からリベラルまでをあたたく包み込む「改革中道政党」です。「共生」の理念を大切に、多様性を受け入れ、社会の分断を乗り越える政治を目指します。また、国民民主党は、単なる批判だけの野党ではなく、国内外の諸問題に対して具体的な解決策を示す政党です。政権を担う覚悟があるなら、反対だけではいけません。子どもたちの未来を明るくするため、さまざまな改革にも積極的に取り組んでいきます。

■「対決よりも解決」をめざす

国民民主党は「対決よりも解決」を目指す政策集団です。もちろん、森友学園や加計学園にみられる権力のゆるみやおごりは厳しく追及し、国会の行政監視機能を果たします。同時に、国家と国民にとって極めて重要な安全保障や社会保障の問題については、具体的な解決策を示していきます。結党から約2ヶ月ですが、すでに「公文書改ざん防止法」、「働き方改革の対案」、「児童虐待防止法案」など、国民民主党はさまざまな課題に対する解決策を着実に示しています。

はじめて臨んだ「党首討論」

■「くらしはリベラル」「対外政策は現実的に」



2018年5月30日、安倍総理と初めての「党首討論」

5月30日に初めて安倍総理との「党首討論」を行いました。文字通り、各党の「党首」しかできない討論であり、いつもの予算委員会とはまた違った雰囲気でした。国民民主党は、国民の生活を第一に考え、再分配を重視する国内政策をとりますが、外交政策や安全保障政策は現実的に取り組みます。そこで、党首討論では、日米の貿易問題、そして、ロシアとの領土交渉の問題点について、“直球勝負”で論戦を挑みました。

■アメリカの理不尽な輸入制限には断固反対

トランプ大統領は、日本からアメリカに輸出される鉄鋼やアルミに高関税をかけ、また、自動車にも今の10倍、25%もの高関税をかけようとしています。日本とアメリカは同盟国のはずです。こんな理不尽なことをされて黙っていれば、日本経済だけでなく世界の経済がおかしくなってしまいます。世界貿易機関(WTO)のもとでの自由貿易体制を守るためにも、EUやカナダのように必要な対抗措置をとるべきではないかと提案しましたが、総理は答弁を避けました。アメリカに付き従うだけでは国益を守れません。

■北方領土返還後の領土に米軍基地を置かない約束を

安倍総理は何度もロシアのプーチン大統領に会っていますが、領土交渉は全く進んでいません。進まない理由は明確です。それは、北方領土を返還した際に、そこに日米安保条約に基づいて米軍の基地や施設を置かれると困るので、それを置かない確約をプーチン大統領が求めているからです。この本質的な問題を解決することなく、いくら経済支援をしても北方領土は返ってきません。安倍総理に、トランプ大統領と話をし、返還後の領土には米軍の基地は置かないとの約束を取り付けてはどうかと提案しましたが、これについても、総理は答弁を避けました。

■今こそ、国民のための国会改革が必要

十分な答弁がいただけなかったものの、党首討論という国家の基本政策を討論する場で、日本が直面している外交や安全保障の本質的課題を正面から議論できたことは良かったと思います。党首討論の後、野党だけでなく、与党の議員からも多数、声をかけていただきました。今後は、党首討論を最低でも月に一回は開催し、夜8時に生中継すれば、昼間は働いていて国会中継を見ることのできない若い皆さんにも政治に関心をもっていただけるきっかけになります。今こそ、国会論戦を国民にとって意味のあるものにする国会改革が必要です。小泉進次郎さんをはじめ超党派で進めていきます。



小泉進次郎さんと

結愛ちゃん虐待死、再発防止策を提案



「おねがいゆるして…」と書き残して5歳の結愛ちゃんが虐待で命を落としました。胸がはり裂ける思いです。こうした悲劇を起こさないために政治に何ができるか、問題点を整理して取り組んでいます。結愛ちゃん一家は東京に引っ越す前、香川に住んでいたことから、6月12日、香川県西部子ども相談センター(児童相談所)を訪問し、久利文代所長はじめ関係者から、直接、話を伺いました。こうした意見も踏まえつつ、国民民主党として、児童相談所の人員増など、急ぐべき対策を盛り込んだ法案を取りまとめ、国会に提出しました。

ただ、法案に盛り込んだ課題以外にもさまざまな論点があります。このうち、下記3.の親権制限の問題は簡単ではありませんが、「家族再統合」を優先し、子どもをできるだけ親元に戻そうとする姿勢を改めなくては、抜本的な解決にはなりません。あくまで子どもにとって何がベストか、超党派で協力して問題解決に取り組んでいきます。



香川県西部子ども相談センターを訪問

1.児童相談所の増員

とにかく、児童相談所職員の増員が急務です。国民民主党は全国で児童福祉司を1,200人増やす法案を国会に提出しました。

2.警察との情報共有を促進

高知県や愛知県、茨城県では、児童虐待の情報を、児童相談所が警察と「全件共有」しています。そこまでいなくても、どのような場合に警察と連絡をとるのか、その基準をガイドラインなどで明確にする必要があります。

3.親権の制限をより容易に

子どもを保護するために必要な場合、親の親権を制限(停止)する手続きを、もっと容易にする必要があります。ちなみに、日本では2012年～2014年の2年間における親権停止は77件(うち喪失42件)のみであるのに対し、ドイツでは毎年12,000件、イギリスでは毎年50,000件が親権停止となっています。日本では、親権停止は容易ではありません。

4.里親や特別養子縁組の支援

里親や養子縁組制度の充実をはかり、国をあげて認知度、理解度を高める必要があります。

5.一時保護施設の拡充も不可欠

児童養護施設やファミリーホームなど、一時保護施設の量的・質的拡充が不可欠です。

